

「土壌の物理性」の電子ジャーナル化の検討について

土壌物理学会事務局

昨今のインターネットの普及に伴って、国内外の著名な雑誌は電子ジャーナルに移行しつつあります。電子ジャーナル化することにより、インターネット上での検索にヒットしやすくなること、動画やデータなどの追加情報を論文につけられること、印刷経費や送料を大幅に節約できること、本棚のスペースに余裕ができることなどのメリットがあります。その一方で従来のページをめくる楽しみが失われるデメリットもあります。しかしながら、学会費だけで運営されている当学会の財政状態を分析するとその大部分を印刷経費が占めているのが現状です。今後、会員増による大幅な会費収入が見込めない限り、学会運営そのものが破綻をきたす恐れもあります。こうした背景を考慮して、10月25日の評議員会および26日の総会では「土壌の物理性の電子ジャーナル化」について会員諸氏から意見を聴取し、その意見に基づいて電子ジャーナル化の可能性を検討することになりました。従来通り冊子体を希望する場合には、オプションとして印刷サービスを導入することなども考えられます。

会員諸氏におかれましては本学会の現状をご理解の上、「土壌の物理性」の電子ジャーナル化に関するご意見をお寄せくださいますようお願い致します。

宛先： 土壌物理学会編集委員会 編集委員長 取出伸夫 宛

方法： (電子メール) E-mail: kibyosi@ml.affrc.go.jp

(Web 問い合わせ) <https://js-soilphysics.com/contacts>

締切： 2014年3月31日